

近年の親潮弱化: 水産資源の分布と漁場の変化



米崎史郎

国立研究開発法人 水産研究・教育機構
水産資源研究所 水産資源研究センター
社会・生態系システム部

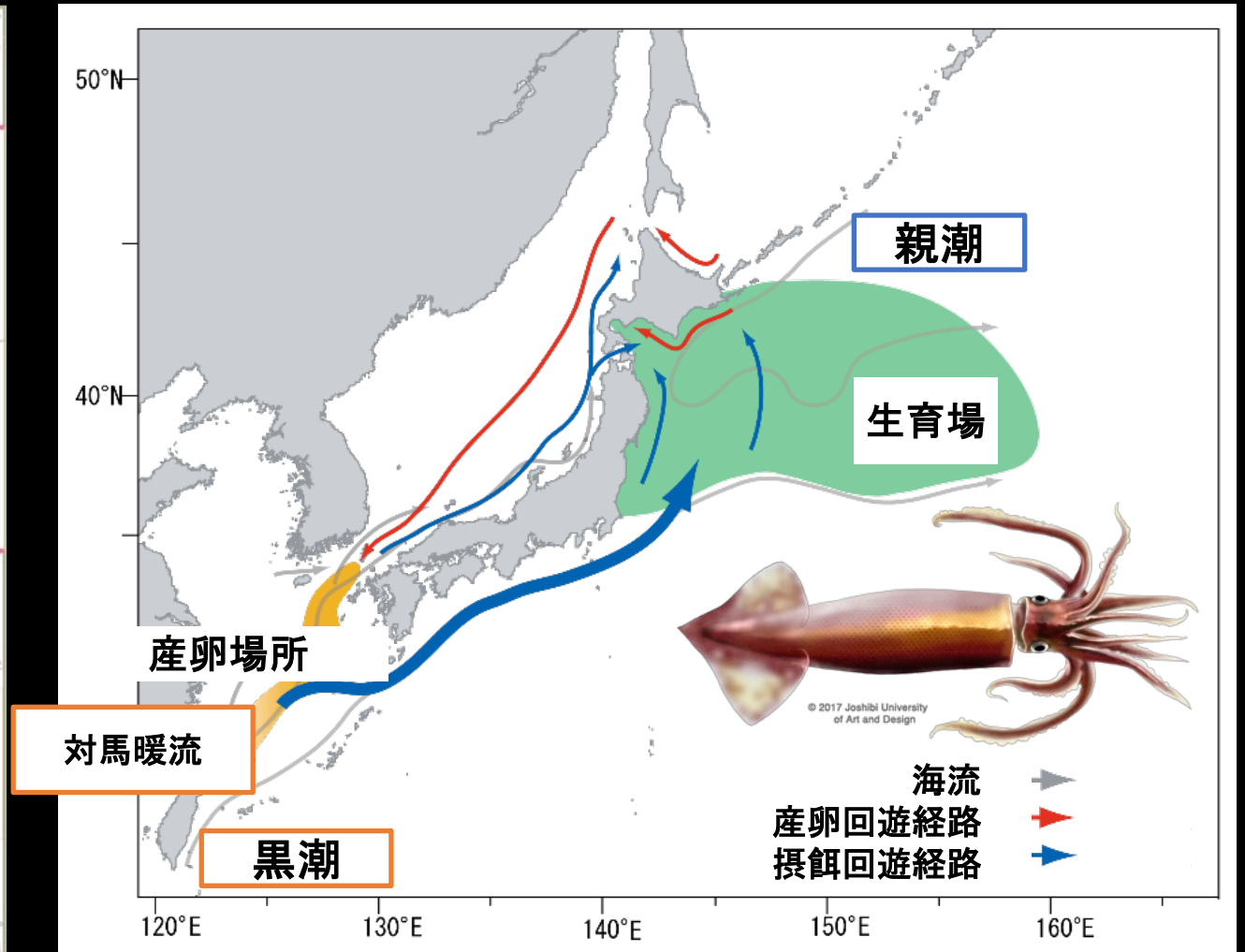


テーマ

- スルメイカの漁獲量減少
- サンマの分布と漁場の変化
- 将来の取り組み

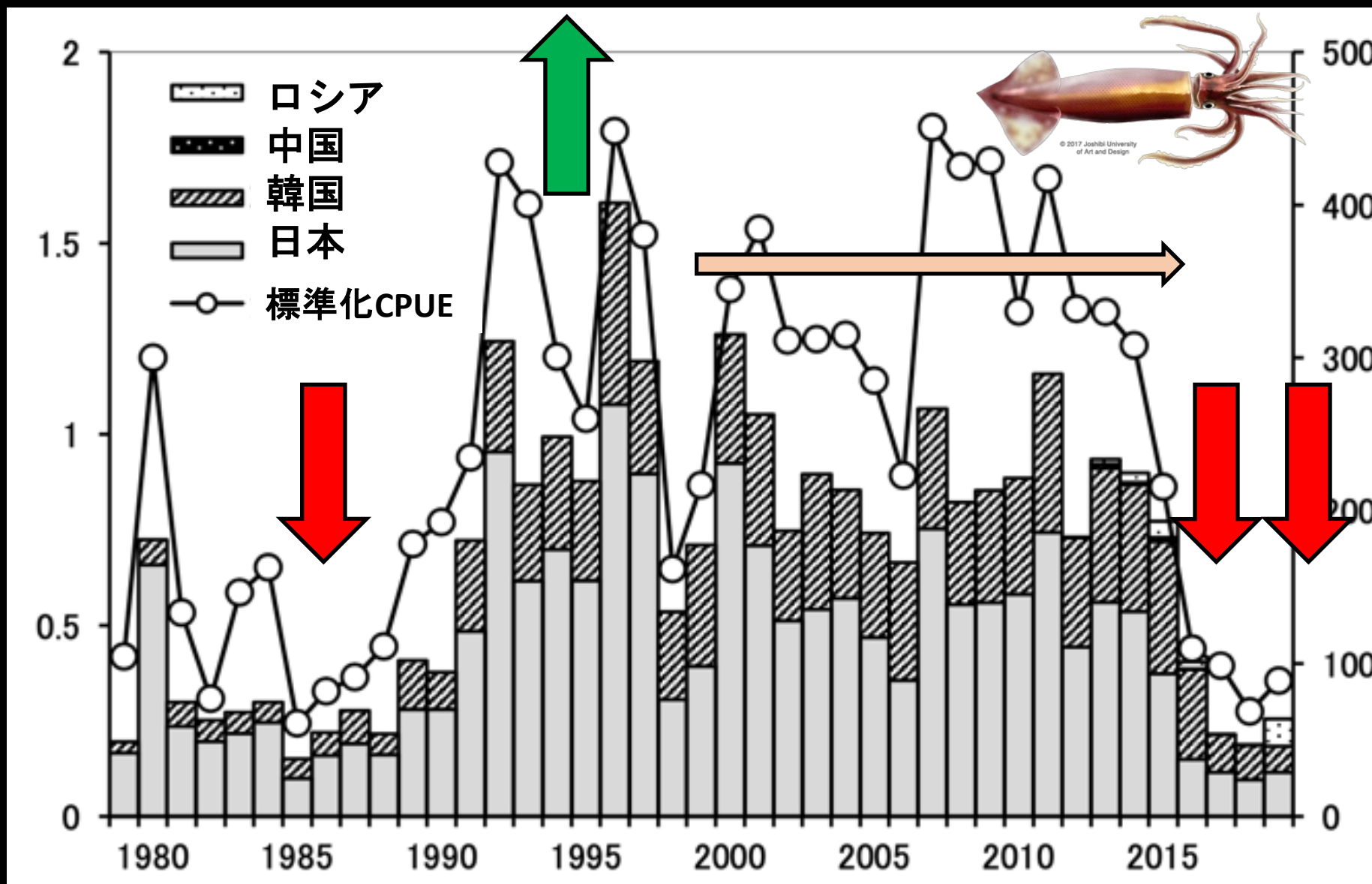


■ スルメイカの漁獲量減少



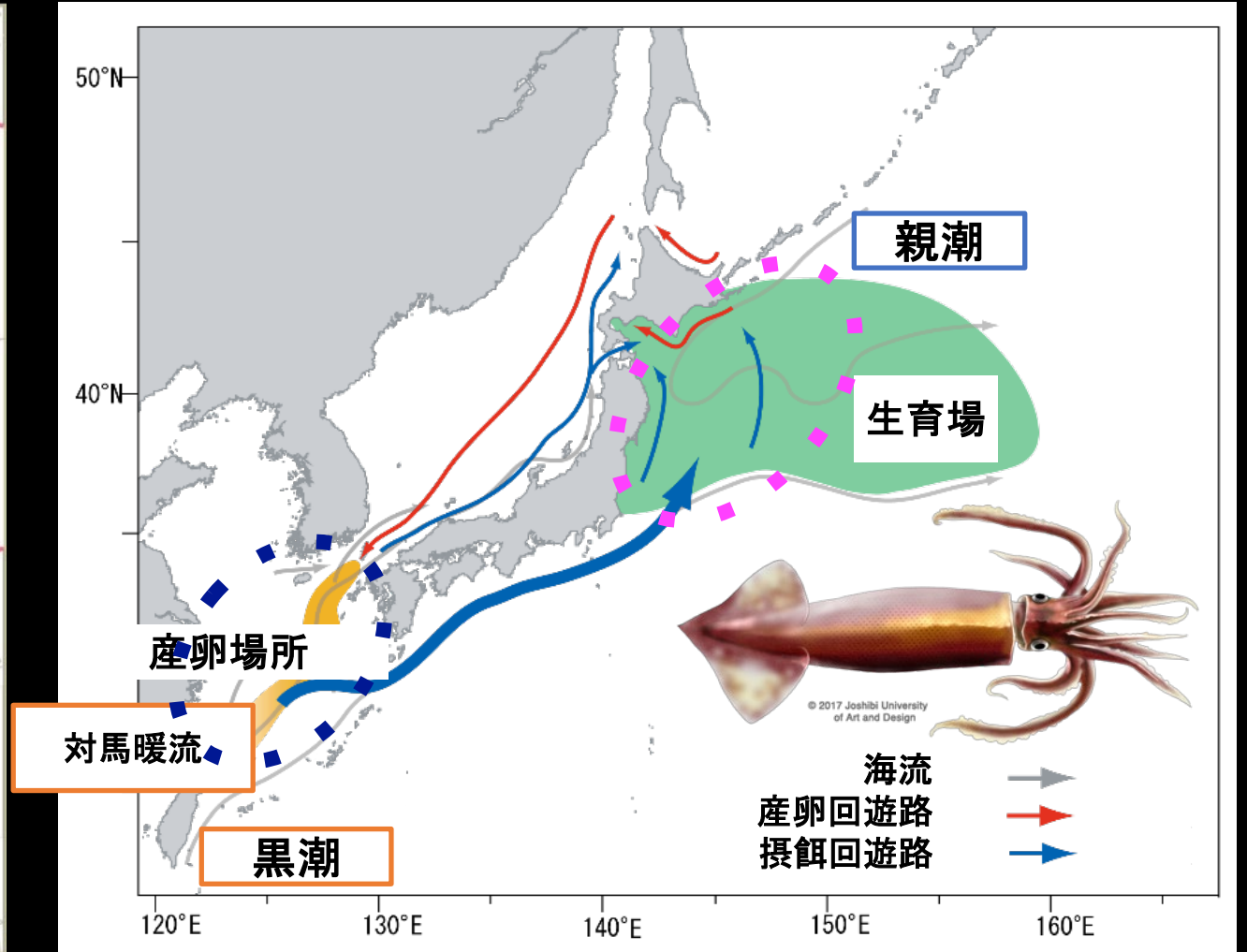
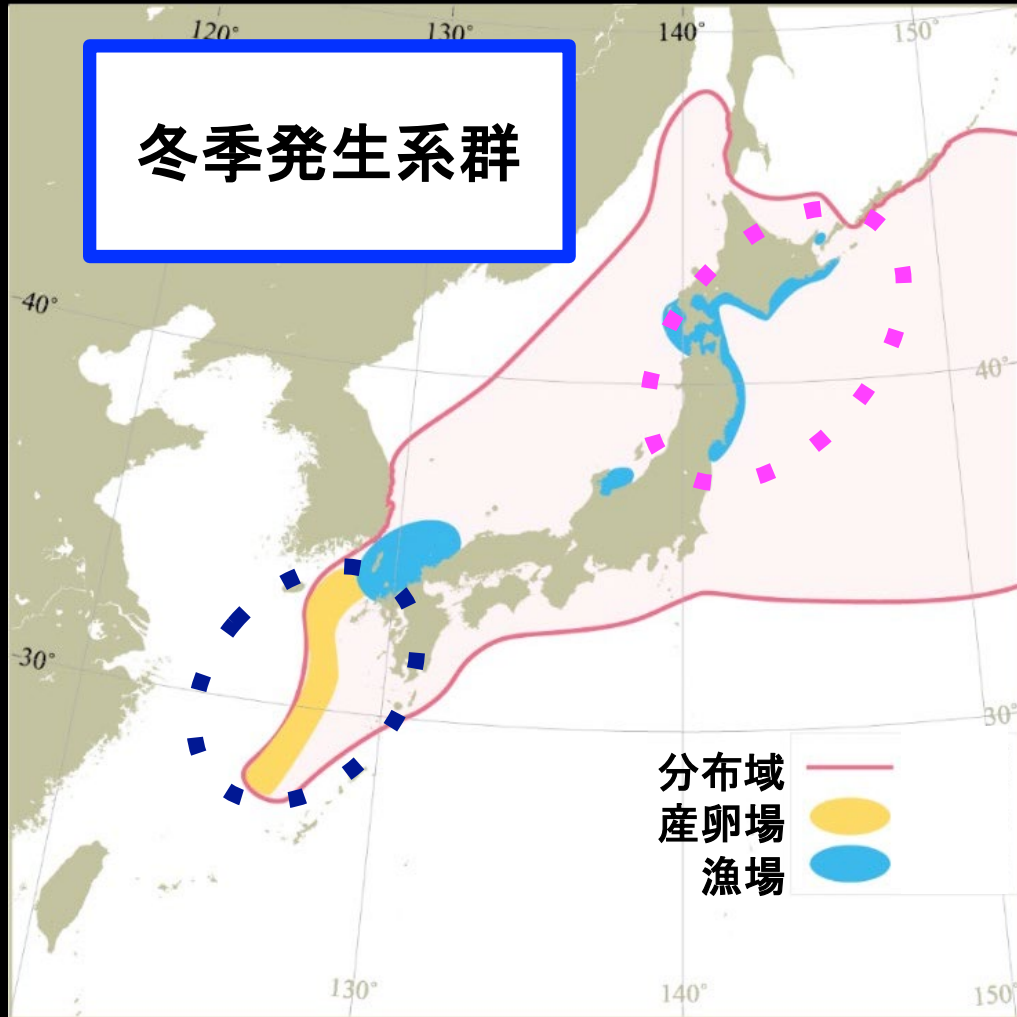
■ スルメイカの漁獲量減少

標準化CPUE



漁獲量 千t

■ スルメイカの漁獲量減少



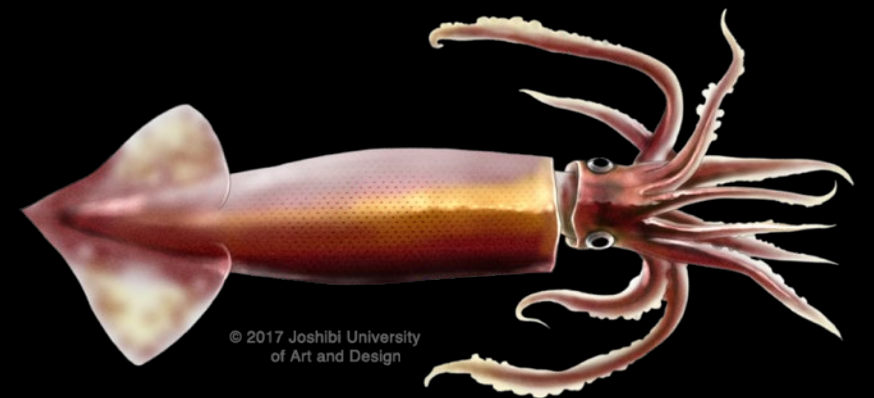
■ スルメイカの漁獲量減少

□ 産卵海域の急激な水温ジャンプ

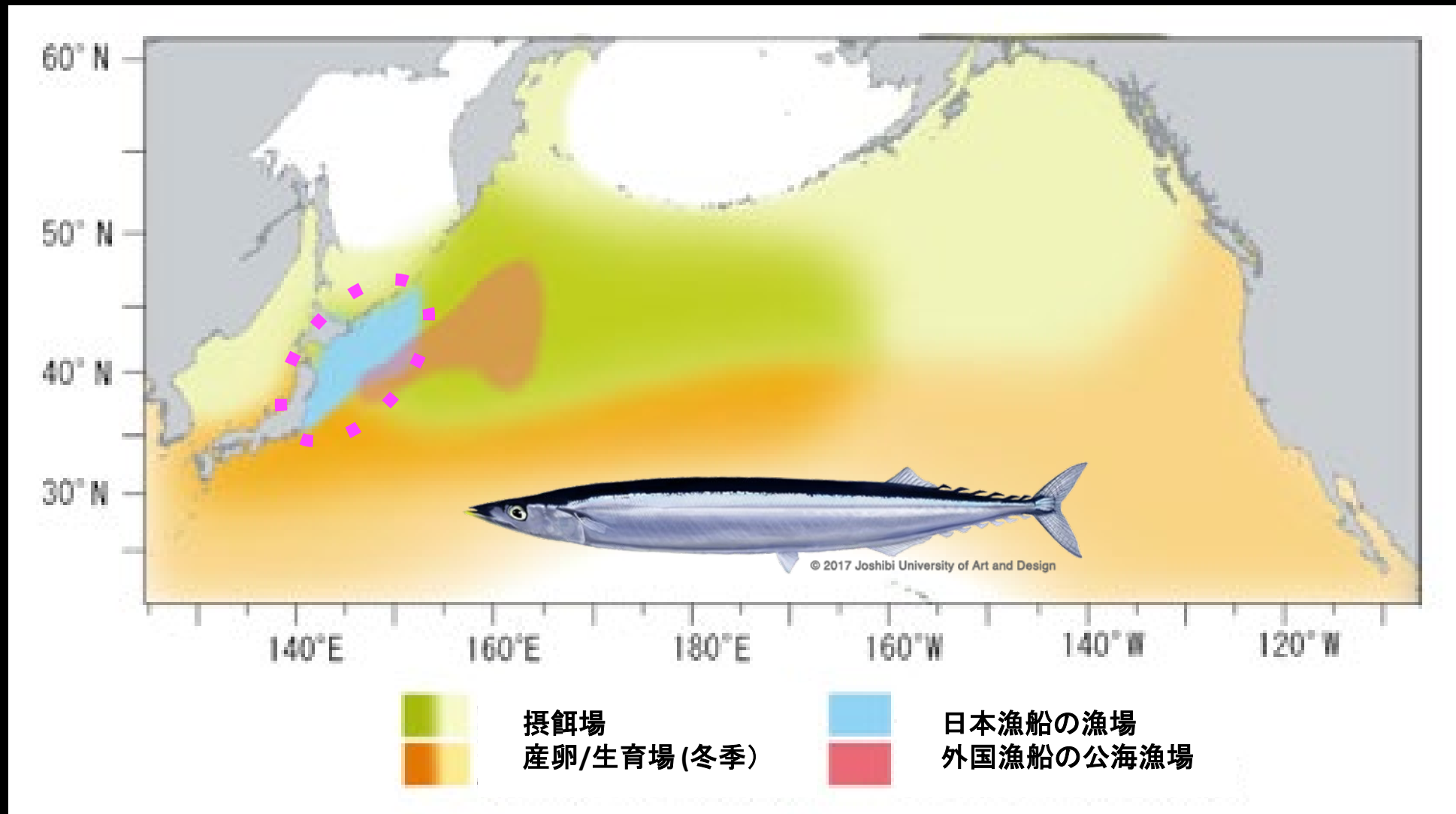
□ 資源動向の国際的な共通認識



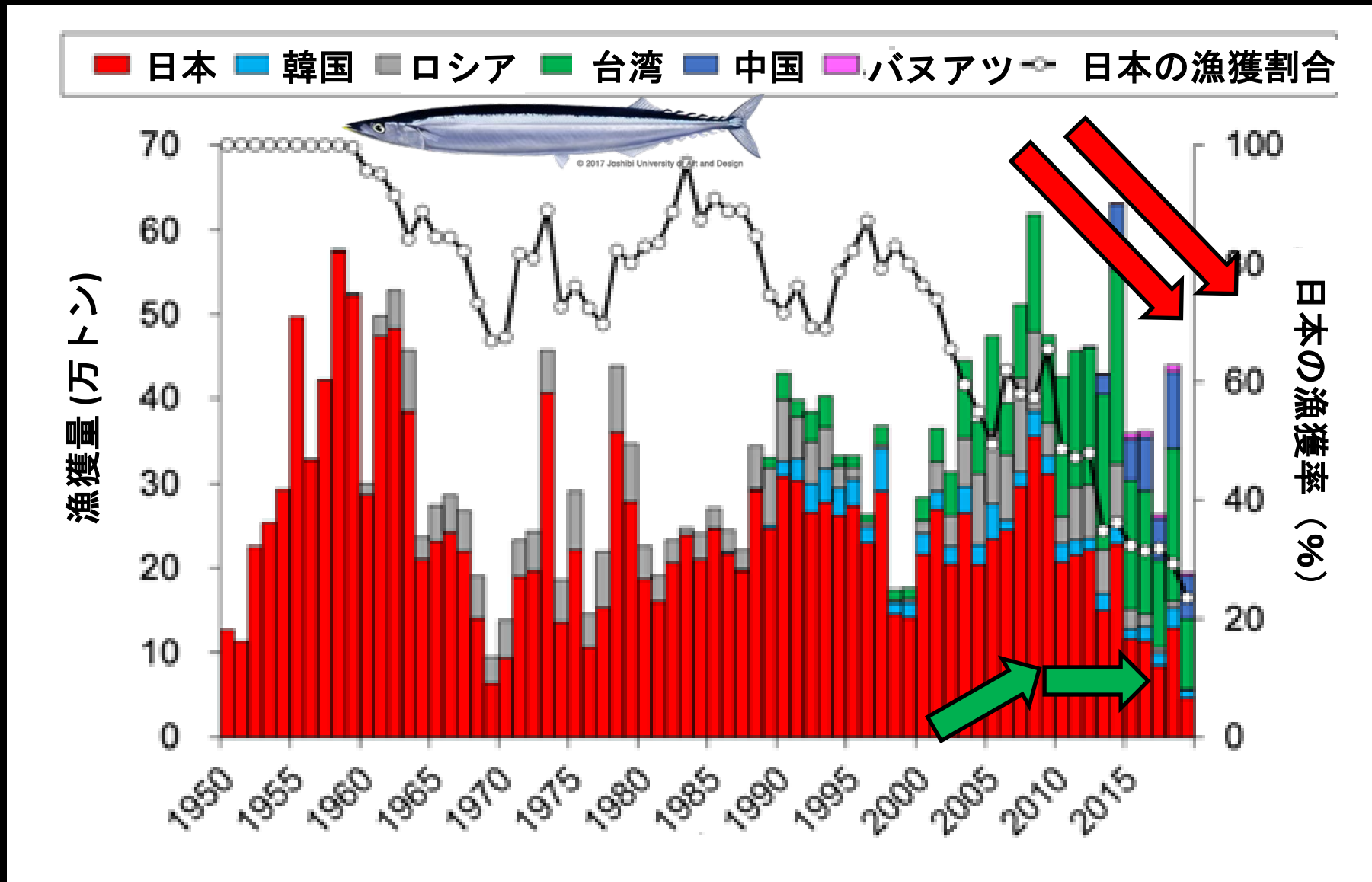
□ さらに**産卵親魚の確保**



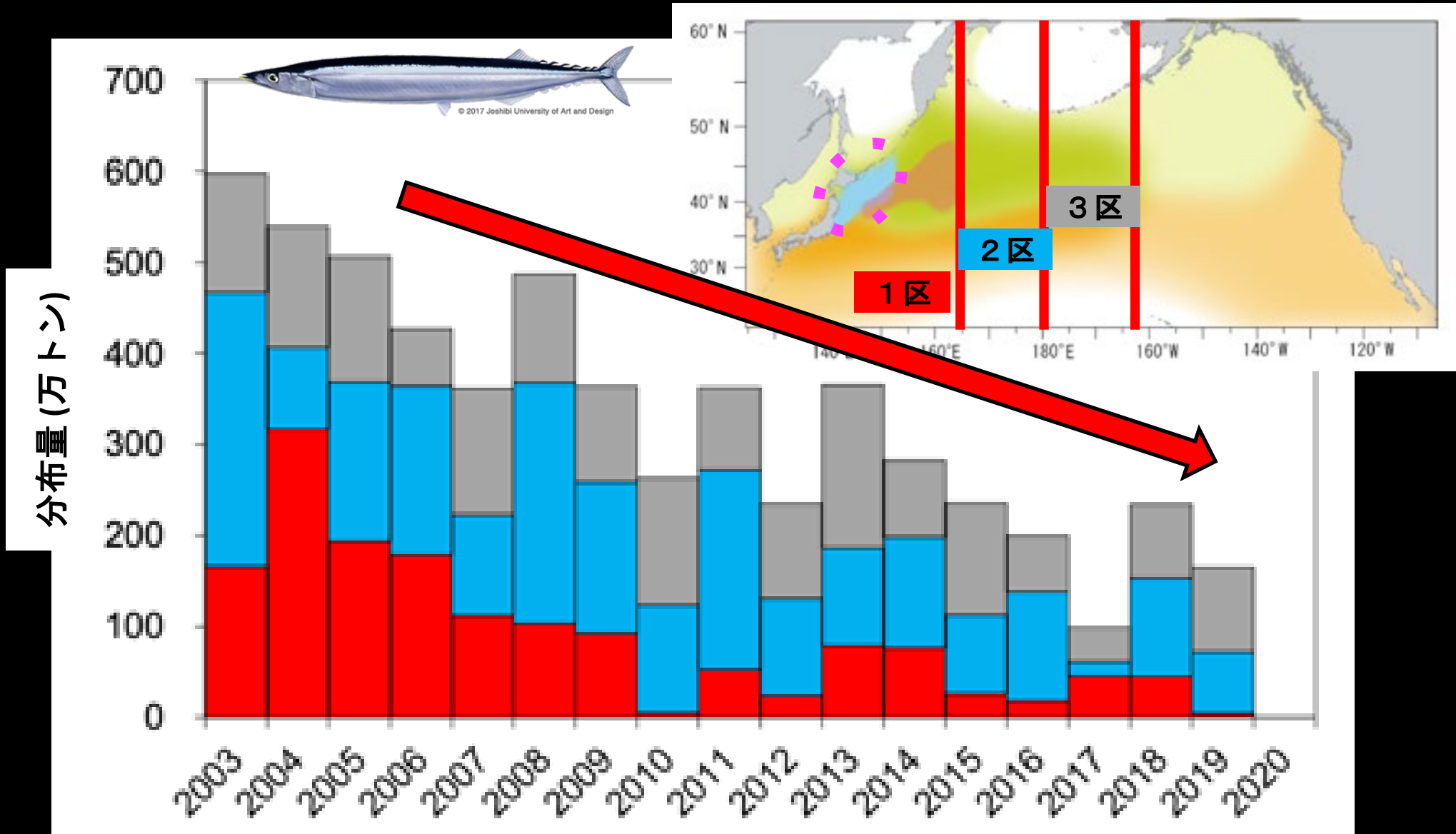
■ サンマの分布と漁場の変化



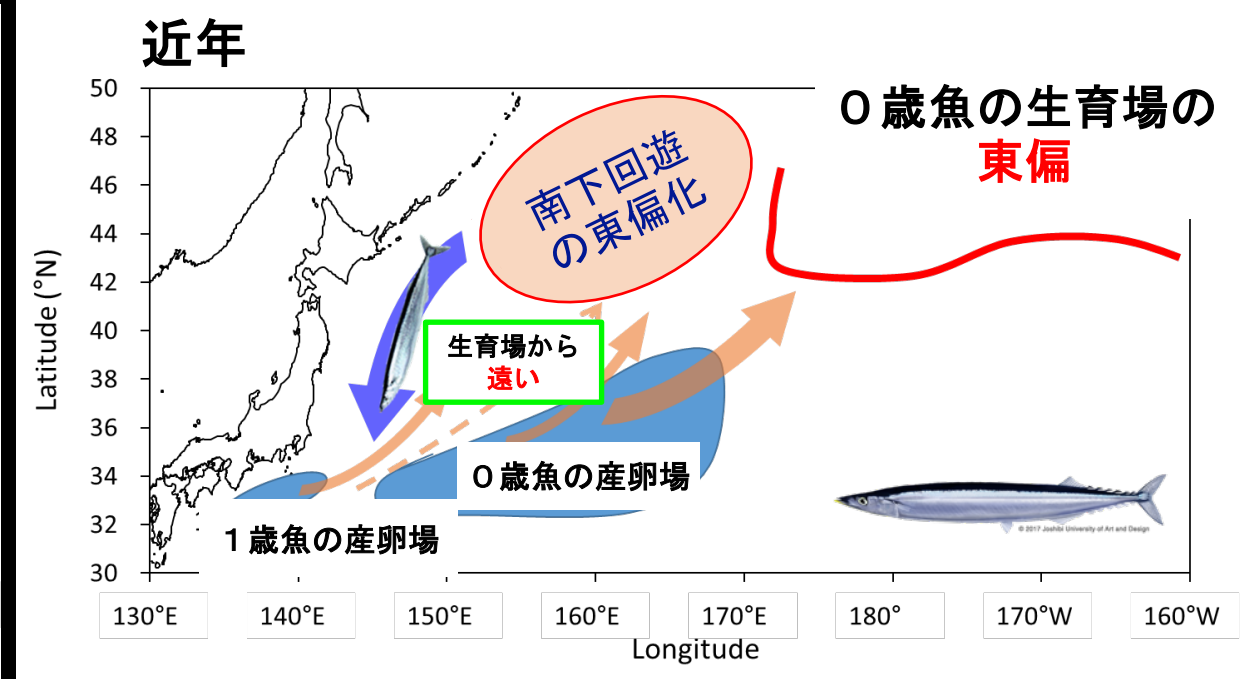
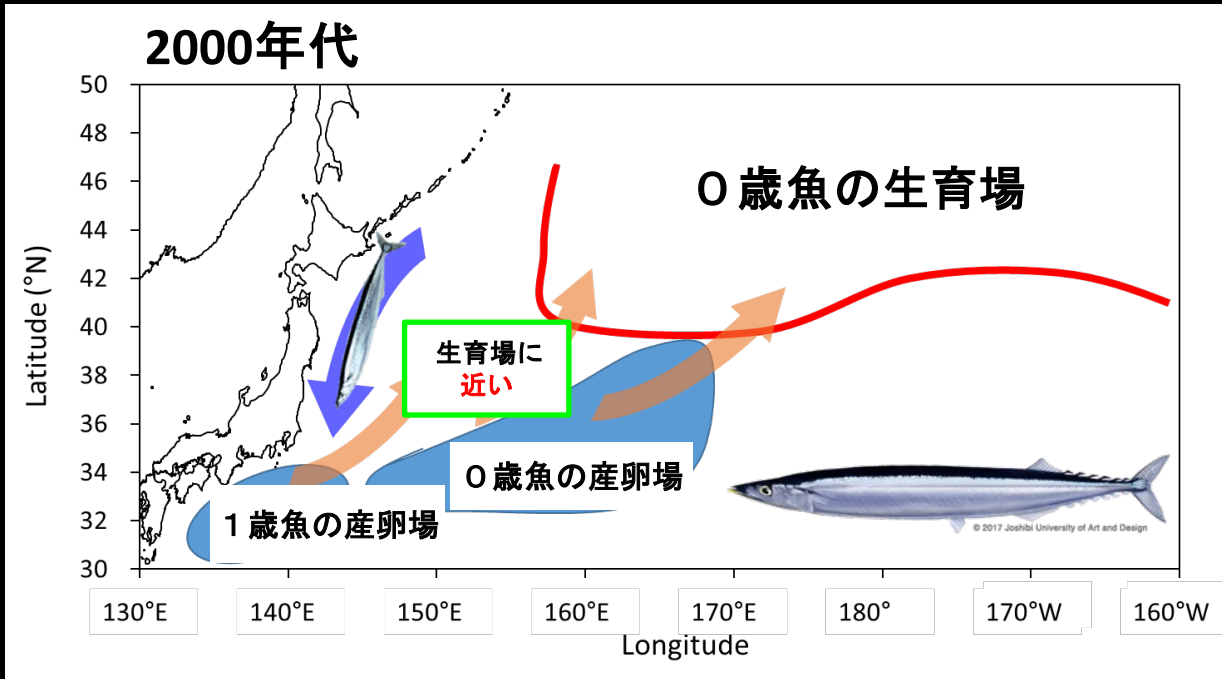
■ サンマの分布と漁場の変化



■ サンマの分布と漁場の変化



■ サンマの分布と漁場の変化



➤ 日本近海の漁場が沖合化し、日本の漁獲量の低迷を加速化させている。。。

■ サンマの分布と漁場の変化

□ 親潮の弱体化により産卵回遊が東偏化

□ 国際協力のもとでの適切な資源管理

□ さらに産卵親魚の確保



■ 将来の取り組み

□ 気候変動に対する各資源の応答の把握

□ 水産資源に対する漁業の影響評価

□ 気候変動に対する海洋生態系の応答の把握

■ 将来の取り組み

□ 気候変動に対する各資源の応答の把握

- 生態的な応答のモニタリング

予防的アプローチ

□ 水産資源に対する漁業の影響評価

- 不確実性を考慮した資源評価の実施

基本的アプローチ

□ 気候変動に対する海洋生態系の応答の把握

- 持続可能な漁業のための複数種管理

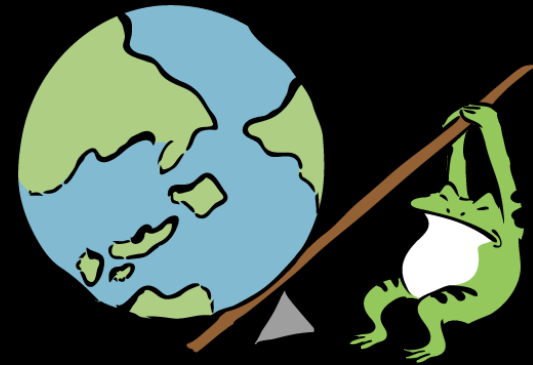
EBFM アプローチ

■ 将来の取り組み



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT

GOALS



□ 気候変動に対する各資源の応答の把握

- 生態的な応答のモニタリング

予防的アプローチ

□ 水産資源に対する漁業の影響評価

- 不確実性を考慮した資源評価の実施

基本的アプローチ

□ 気候変動に対する海洋生態系の応答の把握

- 持続可能な漁業のための複数種管理

行政、漁師、消費者にシンプルかつ説得力ある説明、
アウトリーチを意識した活動に取り組む

EBFM アプローチ

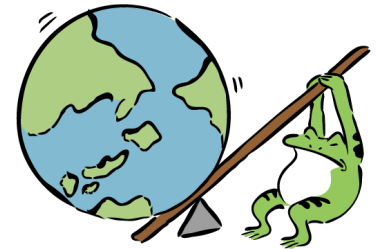
■ 持続可能な漁業と水産業のための 気候変動対応プロジェクト

- ✓ 加入量に影響を及ぼす環境の把握
- ✓ 再生産関係への環境の配慮

環境情報を踏まえた
予測

- ✓ 気候変動予測に基づいた
水産資源の未来予想図の提示

分かりやすい説明と
魅力的なアウトリーチ



2021 United Nations Decade
2030 of Ocean Science
for Sustainable Development